

第22回ふくしま ボランティアフェスティバル

開催要項

1. 趣 旨

少子・高齢化、人口減少社会を背景に、地域や家族形態が大きく変化し、これに伴い生活課題や個人、家族の福祉ニーズが多様化・複雑化してきています。

一方で、地域にはいつもそれらの課題と向き合うボランティアの姿がありました。ボランティアは、社会にとって地域をよりよく変えていく大きな力を持っている重要な存在であり、これからのボランティアには地域のさまざまな人たちと協力し合い、支え合いの輪を広げることが期待されています。

第22回のボランティアフェスティバルでは、「ともに生きる社会～これからのボランティア～」をテーマに、多様な人が参加し、誰もが尊重され安心して暮らすことができる地域づくりを目指し、これまでのボランティアの力をこれからの新しい時代につないでいきます。

2. テーマ 「ともに生きる社会 ～これからのボランティア～」

3. 主 催

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会

4. 後 援(予定)

福島県	福島県教育委員会	社会福祉法人 福島県共同募金会
福島市	福島市教育委員会	社会福祉法人 福島市社会福祉協議会
NHK福島放送局	福島民報社	福島民友新聞社

5. 開催日時

令和元年8月3日(土)

【 受 付 】 9:15～

【 式典・記念講演 】 10:00～12:00

【 分 科 会 】 13:00～14:30

6. 会 場

パルセいいざか

〔住所〕福島市飯坂町字筑前27番地の1 〔TEL〕024-542-2121

7. 定 員

1,000名

8. 参加対象

- (1) ボランティア・市民活動に参加している方、参加したことがある方
- (2) ボランティア・市民活動の推進に関わっている方
- (3) ボランティア・市民活動に関心のある方

など、どなたでも参加できます。

9. 参加費

無 料

※昼食の申込みをされる場合は、昼食代700円(税込・お茶付)をお支払いいただきます。

詳細は「12.昼食について」をご確認ください。

10. 日程・内容

時 間	内 容
10:00～10:35	<p>開 会 (コンベンションホール) 式 典</p> <p>あいさつ 福島県社会福祉協議会長 祝 辞 福島県知事 福島市長</p> <p>功労者等表彰 福島県知事感謝(個人・団体) 福島県社会福祉協議会会長表彰(個人・団体) 福島県社会福祉協議会会長感謝(個人・団体)</p>
10:35～10:45	休 憩
10:45～12:00	<p>記 念 講 演 (コンベンションホール)</p> <p>テーマ 「新しい時代へつなぐ “ボランティアの力” 」</p> <p>講 師 龍谷大学社会学部 教 授 筒井 のり子</p>  <p>プロフィール 龍谷大学 社会学部 現代福祉学科 教授 認定 NPO 法人日本ボランティアコーディネーター協会理事・運営委員</p> <p>関西学院大学大学院在学中から7年間、地域福祉を推進する市民活動団体の事務局長として運営に携わるとともに、コミュニティワーカー、ボランティアコーディネーターとして働く。その後、いくつかの大学を経て、1999年より龍谷大学に勤務。地域福祉論、コミュニティソーシャルワーク、ボランティア・NPO 論等を担当。</p> <p>大津市社会福祉審議会、大阪府高槻市社会福祉審議会の委員。大津市、長浜市、高槻市等の地域福祉計画や社会福祉協議会の地域福祉活動計画の策定委員長などを務める。</p> <p>認定 NPO 法人日本ボランティアコーディネーター協会の設立にも参画し、ボランティアコーディネーション力検定などの開発に関わっている。2004年～2007年度、及び2012～2015年度代表理事。また「龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター」のセンター長を務めている。</p> <p>著書に『ボランティアコーディネーター ～その理論と実際』（単著、大阪ボランティア協会 1990年）、『施設ボランティアコーディネーター』（監修・執筆、大阪ボランティア協会、1998年）、『コミュニティソーシャルワーク』（単著、ミネルヴァ書房 2004年）、『ボランティアコーディネーション力～市民の社会参加を支えるチカラ』（共著、中央法規、2015年）、『現代社会における「福祉」の存在意義を問う』（編著、ミネルヴァ書房、2018年）など。</p>

時 間	内 容
12:00～13:00	<p>昼食・休憩</p> <p>※2階ホワイエで、福島県授産事業振興会によるSELP製品の販売を予定しています。</p>
13:00～14:30	<p>【分科会A】（コンベンションホール）</p> <p>活動発表 「 誰もが大切にされる地域を目指して 」</p> <p>〔コメンテーター〕 医療創生大学人文学部 教授 鎌田 真理子 氏</p> <p>〔発表者〕 てんとう虫の会（天栄村） すかがわ・市民成年後見制度の会（須賀川市） 認定特定非営利活動法人 キャリア・デザイナーズ（郡山市）</p> <p>〔コーディネーター〕 福島県社会福祉協議会 次長兼地域福祉課長 関靖男</p> <p>子育て支援、判断能力が不十分になってもその人らしい生活を支える「後見制度」、ひきこもりの若者支援など、地域で活動するボランティアのみなさんの発表を通じて、誰もが大切にされ、安心して暮らすことができる「これからの地域づくり」について皆さんと一緒に考えていきます。</p> <hr/> <p>【分科会B】（第1会議室） 定員80名</p> <p>講座 「 一人ひとりの想いに寄り添うコミュニケーション 」</p> <p>〔講師〕 福島県立医科大学看護学部 講師 佐藤 利憲 氏</p> <p>〔特定非営利活動法人ReLink(リンク) 代表〕</p> <p>様々な課題を抱える方や不安や悩みを抱えている人に寄り添い、想いを分かち合うことについて考えます。自身のボランティア活動を振り返りながら、一人ひとりの想いに寄り添うコミュニケーションについて学びます。</p> <hr/> <p>【分科会C】（第2会議室） 定員80名</p> <p>レクリエーション</p> <p>「 みんなと一緒に！ 楽しくなるレクリエーション！ 」</p> <p>〔講師〕 社会福祉法人いずみ福祉会 法人本部事務局 事業部長 澁谷 忠男 氏</p> <p>ボランティア活動の様々な場面で活用できる「みんなを笑顔にするレクリエーション」を参加者の皆さんで楽しみます！</p>

11. 申込み方法・問合せ先

(1)参加申込書に必要事項を記入のうえ、郵便またはFAX等でお申込みください。

申込み締切 令和元年7月11日(木)

(2)できるだけ市町村社会福祉協議会または団体・グループで取りまとめいただき、お申し込みください。

その際は参加申込書(団体用)をご利用ください。

(3)分科会B及びCは申込み多数の場合、会場・講師数の関係上、人数を調整させていただきますので、予めご了承ください。また、分科会B及びCに参加される方には後日、参加券を送付します。

(4)受賞者についても参加申込みをお願いいたします。

また、昼食(700円税込・お茶付)は、お申込みにより準備いたします。

(5)手話通訳や要約筆記等の介助が必要な方は、申込書備考欄にその旨ご記入ください。

(6)その他ご不明な点は下記までお問い合わせください。

社会福祉法人福島県社会福祉協議会 地域福祉課(ボランティアセンター)

〒960-8141 福島市渡利字七社宮111

TEL:024-523-1254 FAX:024-523-4477

E-mail:vc@fukushimakenshakyō.or.jp

12. 個人情報の取扱

(1)参加申込書に記載された個人情報は、運営管理のみの目的に利用させていただきます。

(2)本資料及び分科会資料に所属・役職・氏名を掲載させていただきます。

13. 昼食について

(1)昼食の申込みを受け付けます。ご希望の方は参加申込書の申込み欄に○印をつけてください。

(2)団体で取りまとめをして申込みされる場合、昼食引換券や領収書は、まとめて1枚での発行となります。

分割した個数・金額での発行を希望される場合は、申込書の連絡事項欄に、宛名及び個数をご記入ください。なお、当日の申し出につきましては対応できかねますので、予めご了承ください。

(3)キャンセルにつきましては、7月24日(水)までは受け付けますが、それ以降につきましては、キャンセルの場合でも代金をお支払いいただきます。

昼食代 700円(税込・お茶付)

14. 留意事項

地震や台風により中止や延期とする場合がありますので予めご了承ください。なお、中止等の決定は福島県社会福祉協議会ホームページ(<http://www.fukushimakenshakyō.or.jp/>)でお知らせしますのでご確認ください。

本フェスティバルは、皆様からいただいた赤い羽根共同募金配分金が活用されています。

